

平成 22 年 11 月 2 日～平成 22 年 11 月 29 日の間に開催した地域委員会でのご意見

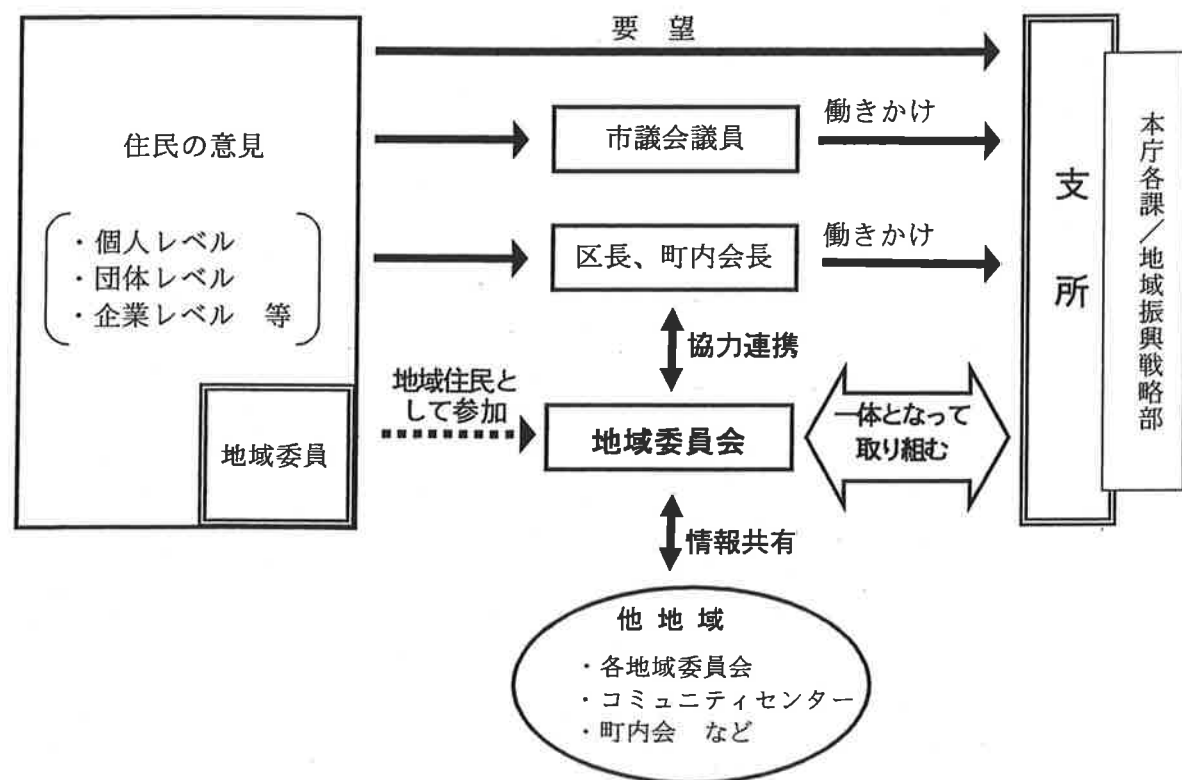
1 これまでの動き

- 1 期目 総合計画などに関する諮問を中心に議論
- 2 期目 分科会を設けて、地域課題を議論
- 3 期目 議論する視点を広げながら、地域課題を議論
(女性地域委員会や地域委員会同士の交流会開催)

2 地域委員会に対する主な意見

- ・地域委員会の役割がわからない。
- ・地域委員会での提言が、どのように反映されていくのか見えない。
- ・継続的にテーマを持ち、問題提示をしながら開催すべき。
- ・自地域だけでなく、長岡市全体を視野に入れた議論を。
- ・何をどのように議論するのか、わからない。
- ・十分な議論には課題の絞り込み、また、様々な機関、組織との連携が必要。
- ・地域の代表なのか、個人の意見で良いのか迷う。
- ・区長や町内会長と同じようには、町内の課題を把握していない。

3 地域委員会の役割について（区長、町内会長等の違い）



【地域委員会の認知度】

- ・地域委員会の活動内容が市民に伝わっていない。支所だよりなどで、地域委員の役割や活動内容をPRすることが必要である。
- ・地域の人たちは、地域委員が何をしているか理解していない。映像をイベント会場で流すなどしつこいくらいにPRしたほうがよい。
- ・団体の代表として出てきているが、地域委員会について報告する場がない。
- ・地域委員の役割が不明確。

【地域委員会の運営】

- ・議題は事務局提案が多い。委員から問題提起することが必要である。
- ・全体の課題を議論する。地域だけでなく、長岡市として物事を考えていけたら良い。
- ・今は行政の追認機関。地域委員会はきちんと議論し、結論を出せる場であるべき。
- ・地域の声をフォローアップする提案をたくさん行うべき。そういった提案の数で地域委員会を評価してほしい。
- ・地域委員会では幅広く議論するのではなく、一つのことを深く議論するほうがよい。
- ・掘り下げた議論をし、地域全体として方向性を出せるような議論ができると良い。
- ・地域委員会は、地域の課題が何か、どう解決していくかを話し合うことが大事。
- ・分科会は意見を述べやすい。意見の述べやすい委員会運営、議題設定をすると良い。

【地域委員会の活動】

- ・地域委員は各団体から情報収集、情報吸い上げを行うことも必要。
- ・合併地域との交流、特に旧長岡地域との交流も大切。
- ・地域委員会と区長会の連携が必要ではないか。各地区に入り込み、意見を聞く機会がほしい。
- ・地域のことに関心を持つことが必要。自ら求めること、参加することが必要である。
- ・地域の人たちと話し合いながら活動していく必要がある。地域の連帯感づくりの役割もあるのではないか。
- ・他地域との交流は地域委員の役割といえる。よいものを見つけて、地域に生かすことが大事。